

令和2年度末に実施した(仮称)道の駅「八千穂高原IC」基本計画(案)に関するパブリックコメントへの対応

佐久穂町では、令和3年2月末～3月末に実施したパブリックコメントでのご指摘や、説明会等における町民意見を踏まえ、(仮称)道の駅「八千穂高原IC」基本計画(案)の成案化及び詳細化を進めています。いただいた指摘や意見を、進め方や方向性に関する内容と、施設計画に関する内容の2つに大別し、現段階での対応状況を整理し、計画具体化の中間報告としてお示しします。

1. 進め方・方向性に関する意見等への対応

| No | 意見概要 | 対応 | 参照ページ |
|----|--|---|----------------|
| 1 | 住民意見を反映させ、コミュニティ創成戦略(総合戦略)とも整合を図るべき。 | 本年の夏以降、地元への説明会、関係者との個別の意見交換等を行って、基本計画改定・成案化に向けた作業を進めています。また11-12月にかけては、サウンディング(対話)型の市場調査を行って、民間事業者による収益施設の整備や運営の可能性を中心に把握します。このような形で様々な方々の意見を踏まえながら、総合戦略との整合にも留意し、年度内を目標に施設の配置を詳細化し、基本計画を成案化する予定です。 | 93-94 |
| 2 | 小さくスタートし徐々に大きく育てる方針でどうか。 | 事業用地エリア等不確定要素もあることからのご指摘と思われませんが、今後サウンディング(対話)型市場調査等を通じて、収益施設の具体的な方向を見定め、供用当初から目的実現に直結できる施設としての機能を確保できるような整備を進めていく考えです。 | 93-94 |
| 3 | 観光協会法人化とあわせた人員配置の検討が必要。 | 観光協会法人化を見据えて地域おこし協力隊の募集を行いましたが無応募がない状況でした。また、コロナ禍により観光業は大きな打撃を受けており、観光協会法人化を早急に進めることが難しい状況で、当施設の管理運営体制等を施設の特性に応じて具体化していく方向で検討を進めています。 | 93-94 81-82 |
| 4 | 事業用地エリアについてはターゲットの明確化、特色ある食提供が重要では。イトインコンビニ、ガソリンスタンドなども候補では？ | 2月の公表計画案のなかでも、事業用地エリアに関しては定期借地権設定等による事業用地としての利用も想定しており、ご指摘のようなサービス施設も候補になると考えられます。ただし、このような用地貸し出しの施設は道の駅の施設として登録・位置付けることができませんので、道の駅とは切り離し、道の駅に隣接する民間施設用の事業用地として扱われることになるかと考えられます。なお、計画地は水源に隣接しており、ガソリンスタンドの設置は慎重な対応が必要となります。 | 81-82 |
| 5 | 事業用地エリアは予算計画も描きながら、民間事業者の名乗りあげがない場合も想定して、公設民営での具体化も検討する必要があるのではないかと。 | 公設の施設とするか、民間事業用地とするか等の方針はサウンディング(対話)型の市場調査を行い、この調査での参加事業者からの提案内容を参考にしたいうえで確定させていく予定です。そのうえで予算計画についても詳細化する方針です。 | 74-84 |
| 6 | 大石川を利用した親水のエリアや管理釣り場等を検討し特色ある施設に。 | 2月以降、利用イメージを検討し、取り組みの方向性を追記しました。今後、護岸の整備等と一体で河畔利用の環境整備等を展開していくための具体的な方法を、河川管理者等と調整をしていく予定です。 | 55-56 |

2. 施設計画に関する主な意見等への対応

| No | 意見概要 | 対応（別紙 令和3年9月段階の計画図案を参照ください） | 参照ページ |
|----|--|---|--------|
| 7 | 入口は1か所に集約し、信号機を設置してはどうか。 | 大型車両の入退場があるため、入口を1か所とする場合交差点が非常に大きくなるほか、駐車場内を大型車両が1周できる幅の広い動線を確保する必要が生じ、敷地の有効活用が難しくなります。このため東側を入口（右折レーン設置）、西側を出口として、大型車両の駐車場内の動線をできるだけコンパクトに抑え、敷地を有効に活用できる駐車場計画を検討しています。 | 68-69 |
| 8 | 緑地が広すぎ、駐車場が手狭ではないか。公園要素は川のエリアに求めてもよいのではないか。 | 地域振興に限らず暮らしにも役立つ道の駅として、防災の機能強化を図る方針のもと、防災ヘリの離着陸機能を当地に確保したいと考えています。そのために必要な条件を関係機関等から聞き取りを行い、広場を敷地の東側に設定しています。駐車場もより効率の良い配置を検討し、2月の公表計画以上の台数確保を検討しています。 | 68-69 |
| 9 | 防災道の駅とした場合、機材置き場、倉庫等の場所が十分あるか。 | ご指摘を踏まえ計画地の一部にヤードを確保しました。 | 68-69 |
| 10 | 温泉や宿泊施設を検討してはどうか。 | 温泉については、計画地と隣接する水源への影響などを勘案し、当施設には積極的に導入しない方針としています。 | 56 |
| 11 | キッチンカーのエリアの設置を。 | 防災ヘリの離着陸エリアとしても機能する広場の西側にキッチンカー設置を可能とし、大型四阿なども設置した多目的な利用が可能な広場を計画中です。 | 68 |
| 12 | サイクリストやランナー向けのステーション施設を検討してはどうか。 | 先進例を調査すると、シャワー、着替えの部屋、カフェなどの複合施設が好まれています。収益・運営も含め検討する必要がある施設であるため、整備する場合は事業用地エリアでが望ましいと考えられます。今後サウンディング（対話）型市場調査等のなかで市場性を把握し、機能として確保が必要かどうかを検討します。 | 55 |
| 13 | 24時間のトイレ利用や車中泊に対する心配あり。 | 24時間の利用は道の駅登録にあたり必須条件となっています。一方、計画地北側には民家もあることから、夜間の駐車車両のエンジン音などの音の影響を軽減する措置を検討していく予定です。あわせて、『道の駅は休憩施設であり、駐車場など公共空間で宿泊目的の利用はご遠慮いただいている』（国土交通省ホームページ 道の相談室での記載）という現状を踏まえ、他の施設での先進的な事例を検証し、対策を検討していきます。 | 30, 69 |
| 14 | そのほかの導入施設提案 ・再生可能エネルギー利用による電力確保や自然環境への配慮 ・ドッグランの設置 ・バス停設置 ・車中泊やバイク対応スペースの確保 ・フリーWi-Fiの設置 ・文化財の展示 ・南佐久の特産品、木材製品、農産物の販売スペース ・遊具の設置、しらかばちゃんコーナー 等 | 導入施設のうち、便器数、ミルクルーム、オムツ替えスペース等については、見直しを行いました。バス停に関しては路線バスや高速バスのバス停設置を想定した動線を計画中です。バイクの対応スペース、再生可能エネルギーの活用等そのほかの提案は、今後の施設の具体化と合わせて検討を行ううえで参考とさせていただきます。 | 68-69 |